科目名称：	英語コミュニケーションⅠ（ビジネス実務学科）		
担当者名：	三藤　加代子		
区分	授業形態	単位数	
基礎教育科目	演習	1	

授業の目的・テーマ

基礎的な語彙や文法・語法を学びながら、英語の４技能（リーディング、リスニング、スピーキング、ライティング）をバランスよく伸ばし、コミュニケーションの基礎を学びます。

授業の達成目標・到達目標

・基礎的な文法・語法を学び、語彙を広げながら、英語によるコミュニケーション力を身につける。
・まとまったパッセージの概要を掴むことができる。
・ペアワークやグループ活動において、他と協力して目標を達成することができる。

基礎教育科目	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	自己理解を深め目標に向かって主体的に行動するとともに、多様性を尊重し他者との信頼関係を築いていくことができる。	○
DP(2)	様々な課題に取り組み幅広い教養を身につけるとともに、変化する社会に対応するための協働的な実践力を身につけている。	
DP(3)	専門的な知識や技能を修得し、それぞれの分野において、これらを柔軟に活用していくことができる。	

評価方法／ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 （レポート含む）	その他	合計
全学DP(1)		40	20	40	100
全学DP(2)					0
全学DP(3)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
なし	《内容１》	《経験年数１》
	《内容２》	《経験年数２》
	《内容３》	《経験年数３》
	《内容４》	《経験年数４》

備考

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
知識・理解	テキストの内容を十分に理解できる。語彙・語法を理解し、使用することができる。	テキストの内容をほぼ理解できる。語彙・語法を理解し、いくつかを使うことができる。	テキストの概要をつかむことができる。語彙・語法のいくつかを理解できる。	テキストの内容を理解できない。語彙・語法を理解できない。
表現	適切な英語表現を用いて、自分の考えを相手に十分に伝えることができる。	英語を用いて、自分の考えをほぼ相手に伝えることができる。	英語を用いて、自分の考えの概略を何とか伝えることができる。	英語を用いて、自分の考えを伝えることができない。
学びに向かう姿勢	積極的に活動に取り組み、他と協力して効果的に発表できる。課題を完成する。	活動に協力的に参加し、十分な発表をすることができる。課題をほぼ完成している。	活動に参加し、自分の役割は果たすことができる。課題の大半を完成できる。	活動に参加しようとしない。課題を提出しない。

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間（分）
第１回　授業の概要説明、自己紹介、グループワーク	シラバスを読む、プリントに取り組む。 Unit 1 Warm Up、プリントに取り組む。	30分
第２回　Unit 1 Occupations	Unit 1 Reading、プリントに取り組む。	60分
第３回　Unit 1 Occupations	Unit 2 Warm Up、プリントに取り組む。	30分
第４回　Unit 2 At the Dinner Table	Unit 2 Reading、プリントに取り組む。	60分
第５回　Unit 2 At the Dinner Table	Unit 3 Warm Up、プリントに取り組む。	30分
第６回　Unit 3 Sports	Unit 3 Reading、プリントに取り組む。	60分
第７回　Unit 3 Sports	プリント、Unit 1-3の復習	120分
第８回　小テスト（Unit 1-3）	Unit 4 Warm Up、プリントに取り組む。	30分
第９回　Unit 4 Health	Unit 4 Reading、プリントに取り組む。	60分
第10回　Unit 4 Health	Unit 5 Warm Up、プリントに取り組む。	30分
第11回　Unit 5 What's on Your Playlist?	Unit 5 Reading、プリントに取り組む。	60分
第12回　Unit 5 What's on Your Playlist?	Unit 6 Warm Up、プリントに取り組む。	30分
第13回　Unit 6 At the Movies	Unit 6 Reading、プリントに取り組む。	60分
第14回　Unit 6 At the Movies	プリント、Unit 4-6の復習	120分
第15回　小テスト（Unit 4-6）	プリントに取り組む。	60分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。また、事前事後学修としては、次回までの課題プリントをまとめることになる。

成績評価の方法・基準

定期試験は、 実施しない。　　その他の評価配分は、以下のとおりである。

小テスト　４０％　　発表　３０％　　課題　２０％　　学びに向かう姿勢　１０％

課題に対してのフィードバック

小テストは評価し返却する。課題はクラス内でチェックし、簡単な解説をする。

教科書・参考書

教科書：Live Escalate Book 2: Trekking（成美堂）
事前事後学修および授業内で参照するとともに、言語活動の資料とする。